

JAPAN HEALTHCARE VENTURE SUMMIT

AMEDアクセラレーションピッチ

AMEDとMEDISOが推薦するシーズをピッチ形式で紹介します。
各事業担当者が、シーズに対する応援演説をします。
モデレータやAMED認定VCが実用化・事業推進に向けたアドバイス・コメントをします。

開催日時

令和5年10月11日(水) 13:00~

開催場所

パシフィコ横浜 JHVSメインステージ

時間	内容	登壇・発表
13:00-13:10	開会の挨拶	AMED 三浦理事 経済産業省 下田生物化学産業課長
13:10-13:45	シーズピッチ【グループA】 +質疑・フィードバック	プレゼンター: 紹介欄参照 モデレータ:
13:45-14:15	シーズピッチ【グループB】 +質疑・フィードバック	LINK-J 高橋様 Remiges Ventures 稲葉様 AMED 内田参事役
14:15-14:45	シーズピッチ【グループC】 +質疑・フィードバック	コメンテータ: AMED認定ベンチャーキャピタル
14:45-14:50	講評	AMED 三浦理事

ピッチ登壇者紹介

グループA



熊本大学 / 株式会社StapleBio

日本発技術であるStaple核酸を利用した遺伝子発現制御法について

我々はStaple核酸と名付けた短鎖核酸を利用して、標的mRNAにRNA G-quadruplex形成を誘導する技術開発に取り組んでいます。今回は本技術を使った遺伝子発現量の増減技術について紹介します。



藤田医科大学 / 株式会社FerroptoCure

新規標的分子を用いたフェロトシス誘導性抗がん剤の開発

フェロトシスとは、酸化ストレスによる細胞死であり、近年新規がん治療標的として注目されており、私達は、独自の新規標的を用いた上記メカニズムの抗がん剤開発に成功し、現在治験を予定しております。



Chordia Therapeutics株式会社

RNA制御ストレスを標的とした抗がん薬の開発

新たに発見されたがんの特徴の一つであるRNA制御ストレスを標的とすることで抗がん薬を開発しました。リードアセットCTX-712は、国内第1相試験でAMLでの完全寛解および卵巣がんでの部分奏効を複数例確認済みです。

グループB



セレイドセラピューティクス株式会社

「細胞で未来を変える」ヒト造血幹細胞の体外増幅技術を用いた細胞治療製品の開発

東京大学医学研究所の山崎聡教授と中内啓光名誉教授は、ヒト造血幹細胞を体外で増やす技術を初めて確立しました。当社では難治性血液疾患を対象として新しい造血幹細胞移植製品の開発を目指しています。



ReEir

株式会社リエイル

採血のみで実施できる低侵襲・高効果な血管・組織再生治療の開発

採血という低侵襲で得た少量の自己血液から、血管と組織への高い再生能を有する細胞を若返らせ、増幅する培養技術を世界で初めて開発しました。(Repri 細胞(開発コードRE01))



PuREC株式会社

細胞移植治療の未来を切り開く高純度間葉系幹細胞REC(Rapidly Expanding Cells)

PuRECの中核技術はsingle cell sorting & seedingを用いた高純度間葉系幹細胞の単離技術です。遺伝子治療や核酸医薬等、他の治療モダリティには無い、間葉系幹細胞だけが持つ生着と分化という特徴を生かした移植治療の実現を目指しています。

グループC



株式会社凜研究所

TMEM180を高発現する大腸がんにも有効な新規ヒト化抗TMEM180抗体の開発

大腸がん等に発現するTMEM180に対する新規抗体は本年1月P1試験に入り、安全性に問題なく、遅滞なく進捗しています。がん間質標的の抗不溶性fibrin-ADCは既存DDSの欠点を補う新規の固形がん攻略手段！



株式会社メトセラ

心臓内幹細胞を用いた小児先天性心疾患患者に対する治療法の開発

JRM-001は、機能的単心室症患者の新たな治療選択肢となる可能性を持つ自家細胞製品です。早期実用化により小児心臓移植の代替治療とすることを目指し、P1及びP2の臨床研究成果を基に検証的試験を進めています。



C4U株式会社

新規ゲノム編集技術CRISPR-Cas3

当社のシーズであるCRISPR-Cas3は安全性が高いゲノム編集技術であり、独自特許によるFTOも確保されています。本技術により、Cas9とは異なる新しい治療方法を提供いたします。